

2021  
年を占う!

あなたのパワーを引き上げるアロマは?

# セラピストのための アロマ占星術

西洋占星術で用いられる天体や星座の動きに、精油との関連性を組み合わせた「アロマ占星術」。

西洋占星術研究家でアロマセラピストの登石麻恭子さんが読み解き、皆さんの2021年をより豊かなものにしてくれる精油とともにお伝えします。あなたを高め、整え、癒すきっかけになりますように――。

文◎登石麻恭子 西洋占星術研究家・アロマセラピスト



## Profile

登石麻恭子 (といしあきこ) さん

西洋占星術研究家、英国IFA認定アロマセラピスト。ホリスティックなツールとしての西洋占星術と、フィットセラピーやパワーストーンなどを組み合わせたセラピー占星術を実践。都内にてセッション・講座を開催中。『スピリチュアルアロマセラピー事典』『366日の誕生日パワーストーン事典』『魔女のアロマセラピー』『魔女の手作り化粧品』など著書多数。



## 2021年は 大きな「時代の転換期」

2021年はさまざまな意味で転換期となる一年です。西洋占星術では多角的なスパンで時期的な流れを占っていきますが、今年は2〜3年程度の社会テーマの切り替わりでもあり、また20年ごとの世の中の動きが変化するタイムミングであり、また200年単位の大きな時代の転換期でもある非常に重要な年となっております。

今年一年の注目すべきテーマもあるのですが、これらすべての方向性に関して「風」が強調されています。「風」とは星座に関連した元素のことです。12の星座は「火」「土」「風」「水」の4つのグループに分類され、「火」は熱意や意欲、「土」は物質や身体性、「風」は知性と情報性、「水」は感受性と共感に関わります。このテーマは時期ごとに循環していきますが、2021年を境に、「土」の時代だったそれまでから「風」という知性や情報を軸とした流れへと変化していくのです。

開運を示す幸運の星・木星は1年ごとに移動していきますが、2020年末に風のグループである水瓶座に入りました。また同ジタイミングで今後2〜3年の社会のあり方を示す土星も水瓶座に入り、さらに木星と土星が重なるグレートコンジャンクションと呼ばれるイベントが起こるため、20年ス

パンの方向性も水瓶座によって示されることになるのです。

水瓶座は国境や地域などの壁を越えた横つながりの友愛性やグローバルイズム、さらにはまた人と人をつなげるネットワークなどにも関連しています。ひとつ前の山羊座のテーマがヒエラルキーのある縦型構造だったのに対して、水瓶座は人と人のつながりから形成される横つながりの構造を持ちますから、権威やブランドのようなものよりも、口コミや個人的な発信に人の関心が集まりますし、組織的に固められて歯車のように動くというよりも、個人個人の力を発揮していき協働する中で大きな物事が動いていくことになるでしょう。

また、インターネットは水瓶座と非常に関連深いテーマです。これまでもネットを活用しながらビジネスが展開されていきましたが、今後はそうした傾向がさらに高まっていきます。その一方で食やボディワークなどの分野はある意味、過渡期を迎えるでしょう。この時、個性やオリジナリティをいかに発揮するかが山を乗り越えるカギになります。自分なりの考えを組み立て、発信することによって人が惹きつけられてくる流れが主となりますが、それ以前に自分の強みや個性を再確認することも重要ですので、この一年はまず自分自身の動機や強みなどをあらためて見直していくとよいでしょう。